

式 辞

猛烈な暑さと突然の雷雨が記憶に残る夏休みが終わりました。この夏休みの間も、部活動や各科の熱心な取組によって、代表生徒が全国大会・四国大会等の上位大会において、出場・入賞等の成果を上げたことを誇りに思っています。活躍の様子が本校ホームページに掲載してありますので、ぜひ目を通してみてください。

また、夏休み中に実施した第2回中学生体験入学のアンケート結果に、中学生から「先輩が優しく接してくれた」「丁寧に教えてくれて分かりやすかった」という回答が多く見られました。皆さんが日々磨き上げてきた技術力はもちろん、人間的な成長が中学生にも伝わっていることを大変うれしく思いました。

2学期は、3年生は進路決定、2年生はインターンシップ、1年生は2年生とともに就職キャリアガイダンスの受講など、それぞれの進路が現実味を帯びてくる大切な学期でもあります。自分の目標に向かって怠ることなく努力を続けてください。

さて、1学期の終業式で「人の命も自分の命も、決して傷つけてはならない」というお話をしました。私は、「命」という言葉に、心臓が動いて息をしているということだけではなく、「人としての尊厳」つまり「人として大切にされること」という意味も込めてお話をしました。あなたも私も人として大切にされるべき存在なのです。そのことを胸に置いて、自分の振る舞いが人を大切にしているか、自分を大切にしているか、常に考えてほしいと思っています。そして、もしも自分のことを大切に思えない、投げやりな気持ちになったときには、必ず誰かに相談をしてください。あなたのことを大切に思ってくれる人があなたのまわりには必ずいます。

以上、夏休み期間の本校生の活動の様子、2学期が進路に関わる大切な学期であること、人も自分も大切にすることについてお話をし、2学期始業式の式辞といたします。

令和5年9月1日

愛媛県立東予高等学校長 渡邊 琴子